



ならこくニュースレター

令和 6 年 3 月 5 日 Vol.13



奈良国立大学機構と両大学の取り組みについて、
今回は、主に、2 月の動きを中心にお伝えします。

————▼お知らせの種類▼————

- A. 両大学共通イベント B. 奈良教育大学の取組
C. 奈良女子大学の取組 D. 今岡学長から

////////////////▼注目 Topics▼////////////////

- 【A-1】なら産地学官リカレント教育プログラム シンポジウム「みんなで考えるリカレント教育～人が学び、会社が成長し、地域が良くなる～」を開催
【B-2】奈良市内のニホンジカの血縁構造とその分布
【B-3】奈良教育大学附属小学校教員の人事交流について
【C-3】令和 5 年度学生表彰を実施



A. 両大学共通イベント

【A-1】なら産地学官リカレント教育プログラムシンポジウム「みんなで考えるリカレント教育～人が学び、会社が成長し、地域が良くなる～」を開催 (1/25)
https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20240126/20240126.html

<開催案内>

○アドバイザーボードによる講演等の予定

https://naraportal.nara-wu.ac.jp/portal/index.html?bbs_id=3653&direct=1&module=office&controller=bbs&exec=detail (学内専用)

・森 雅彦氏 (DMG 森精機株式会社取締役社長) との対話企画「これからの社会で求められるリーダーシップ」

場所 : DMG 森精機株式会社奈良商品開発センター (JR 奈良駅前)

日時 : 令和 6 年 3 月 13 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00

○シンポジウム「地域 (まち) とつながる学生活動」—Meet Up!! 大学を越えてつながる DAY—

場所 : 奈良県コンベンションセンター 201・202 会議室

日時 : 令和 6 年 3 月 19 日 (火) 13 : 00 ~ 16 : 30

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20240319/20240319.html

○大学と地域の新しい共創のしくみ「奈良型エクステンション」説明・報告会

場所：奈良カレッジズ交流テラス

日時：令和6年3月25日（月）13：30～16：30

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2023/20240325.pdf

※対面参加は先着順（30名程度）

オンライン参加可（zoomは別途案内）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSctZyfS5OomWBNZ1foKnBQxWaZO3rCO75qul4b_8k6PIpw5tg/viewform

○ならスタートアップの集い～2024春の陣～（奈良県主催）

場所：奈良女子大学記念館（第一部）

日時：令和6年3月26日（火）17：00～19：00

詳細：<https://nara-startup2024spring.peatix.com/>

B. 奈良教育大学の取組

【B-1】 なつきょん's Cafe 「ヨーグルトだけじゃない！ブルガリアの冬体験」を開催（12/22）

https://www.nara-edu.ac.jp/CIES/event/2024/01/s_caf_2023_12_22.html

【B-2】 奈良市内のニホンジカの血縁構造とその分布（2/21）

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/02/pr0221.html>

【B-3】 奈良教育大学附属小学校教員の人事交流について（3/1）

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/03/pr20240301.html>

<開催案内>

○学生オペラ 2024 オペレッタ《メリー・ウィドウ》

場所：奈良教育大学講堂

日時：令和6年3月9日（土）13：00 開場 13：30 開演

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/other/opera2024.html>

○公開講座「誰もが「ここに居ていい」と思える学びの場づくりのためにインプロ（即興表現）を学ぼう」

場所：奈良教育大学 山田ホール

日時：令和6年3月23日（土）10：00～16：00（9：30 開場）

https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/2024/01/r5narayama_impro.html

○令和 5 年度卒業式・修了式

場所：講堂（教育学部・大学院教育学研究科）

管理棟 2 階第 1 会議室（大学院教育学研究科（夜間コース））

日時：令和 6 年 3 月 25 日（月）

10：00～（教育学部）/11：30～（大学院教育学研究科）

18：30～（大学院教育学研究科（夜間コース））

<https://www.nara-edu.ac.jp/event/university/r5graduation.html>

C. 奈良女子大学の取組

【C-1】令和 5 年度食物栄養学奨励賞授賞式を開催（11/2）

<http://food.moon.bindcloud.jp/cn26/pg5245771.html>

【C-2】韓国の gallery the C にて展覧会「Ahn Jun×Nagatani Lab」を開催
（1/18～1/23）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240201_1.html

【C-3】令和 5 年度学生表彰を実施（2/8）

http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/20240209_1.html

<開催案内>

○最終講義

- ・中山徹教授（研究院生活環境科学系）

場所：S 棟ラウンジ／オンライン配信

日時：令和 6 年 3 月 9 日（土）15：00～16：30

- ・武藤康弘教授（研究院人文科学系）

場所：S235 教室

日時：令和 6 年 3 月 16 日（土）14：00～16：00

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/2023kougi.html>

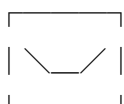
○令和 5 年度卒業式並びに学位授与式

場所：講堂（学部）/記念館講堂（大学院）

日時：令和 6 年 3 月 22 日（金）

10：00～（学部）/13：30～（大学院）

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2023news/pdf/20240116_1.pdf



D. 奈良女子大学 今岡学長から

「奈良国立大学機構に至る 34 年を振り返って」

今岡 春樹

私が奈良女子大学に赴任したのは、1990 年のことでした。バブルが弾けつつあった時です。助教授・准教授が 11 年、教授が 12 年、学長が 11 年と 34 年間お世話になりました。

奈良女子大学に赴任する前は、現在は産業技術総合研究所となっていますが、つくばに集まった工業技術院の 9 研究所の一つ、繊維高分子材料研究所に所属していました。仕事は、衣服の 3 次元形状を計算機で予測する「着装シミュレーション」の開発でした。大学生時代はファジィの考えを工学に応用することを行うため計算機を使っていましたが、繊維集合体の衣服は未知の分野でした。ただ機械工学で材料力学を勉強していたので、その応用のつもりで、生物物理学を専攻してきた同期の研究者と二人で取り掛かりました。スカートやブラウスの形が予測できるようになり、論文博士を東京工業大学から授与いただきました。学会発表は繊維関係が多かったので、全国の女子大学の被服関係の先生方と意見交換をするようになりました。その中に後に女性初の国立大学長となられる本学の丹羽雅子先生がおられ、家政学部被服学科で採用される運びとなりました。

所属は被服学科被服意匠学講座で、中川早苗教授が上司でした。意匠学は被服の色と形のデザインを研究・教授する講座でした。色はコンピューター・グラフィックスを知っていましたが、本格的に学んだことがありませんでしたので、色覚に関する認知科学を学びました。形は曲面の幾何学、特にガウスの曲率などを学び、教育や研究に生かしました。学会活動は繊維学会、日本繊維製品消費科学会、日本家政学会が中心でした。学生時代のつながりで日本ファジィ学会（現日本知能情報ファジィ学会）でも発表しました。国立大学の法人化前は長期在外研究員制度があり、英国ブラッドフォード大学ジョージ・ステリオス教授の下で 10 か月の研修を積むことが出来ました。一般化したファジィ積分を研究しましたが、この研究が帰国後ランダム柄や多色配色の研究に発展し、二人の学生の博士論文につながりました。

教授を拝命してから、7 人の博士を育成しました。後半の 6 年は、教育研究評議会評議員 4 年と生活環境学部長 2 年と管理運営に貢献しました。

学長を拝命してから、4 年・4 年・1 年・2 年と任期を務めました。最初の 4 年では前学長から引き継いだ学部を超えた大型改組を行い、お茶の水女子大学と共に大学院生活工学共同専攻の設置を行いました。次の 4 年と 1 年は奈良教育大学との法人統合と工学部の設置の準備が大きなことでした。最後の 2 年は国立大学法人奈良国立大学機構傘下の奈良女子大学総括理事としての学長でした。ここでは、高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業に採択されたことが今後につながる大きなことでした。

奈良教育大学と法人統合する際に、奈良カレッジズという奈良全体の高等教育を考えてきました。奈良教育大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立医科大学、奈良県立大学の収容定員を

合計すると、約 7,500 人になります。その大多数が県外からの移入者です。そして留学生は正規留学生に非正規留学生を加えると約 500 人です。今後はこの規模の学生さんたちを視野に入れることが大切だと考えます。奈良女子大学は国立に二つしかない女子大学で、女性リーダーの育成を当然の目標にします。そして、奈良国立博物館、奈良文化財研究所、橿原考古学研究所を含め、近隣の高等教育・研究機関と協働して、全体として多くの有為な人材を育成することが今後の構想となります。奈良の地が国際色にあふれ、地域と大学が一体となって発展していくことを心から祈念して筆をおきます。長い間、本当にありがとうございました。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

バックナンバーは以下よりご覧いただけます。

<http://www.nara-ni.ac.jp/news/narakoku/index.html>

また、学内掲示板以外のメールでの配信をさせていただいている方で、

配信停止をご希望の方は、お手数ですが、

somu02@jimu.nara-wu.ac.jp まで、その旨お知らせください。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲